

町内の小・中学校のあり方を検討しています

本町では、人口減少や少子化に伴って各学校とも児童・生徒数の減少が予想されます。

また、長崎小学校校舎、豊田小学校校舎の築年数がともに40年を経過しており、老朽化が進んでいます。さらには、時代の変化とともに学校へのニーズが多様化しています。

こうしたことから、現在の教育環境や町の課題などを踏まえ、これからの町の学校のあり方について考えるため、令和5年度に教育委員会で「中山町学校の将来構想検討委員会」を設置しました。



将来構想検討委員会の様子

中山町の教育～時代の変化に対応した持続可能な町づくりをめざして～

■「地域とともにある学校づくり」へ

本町のすべての小中学校は、**コミュニティ・スクール**です。コミュニティ・スクールとして学校の教育活動を積極的に地域に発信するとともに、学校の教育活動において地域の方々から協力を得ながら、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

「**コミュニティ・スクール**」とは、学校運営協議会を設置している学校です

「学校運営協議会」とは、保護者・地域の代表や教職員が参加し、ともに学校づくりについて協議する機関です

■「ICT機器を積極的に活用した授業づくり」へ

本町では、小中学校の学級に電子黒板が設置されています。また、子どもたち一人ひとりに1台、タブレットが貸与され、子どもたちが学習活動などで積極的に活用しています。

中山町の課題

■小学校校舎の老朽化（築40年以上経過）

- ・長崎小学校 昭和54年（1979年）竣工
- ・豊田小学校 昭和56年（1981年）竣工

■自然災害に対する校舎の安全確保

■小学校児童数の減少

6年後、小学校の児童数が約150名減少することが予想されます



築45年になる長崎小学校

令和6年度の児童生徒数

・長崎小学校	365名
・豊田小学校	101名
・中山中学校	229名



令和12年度の児童生徒数

・長崎小学校	約260名
・豊田小学校	約60名
・中山中学校	約220名

（【参考】令和6年度行政区別年齢別統計表 令和6年6月4日現在）

これまでの検討委員会で話された内容

中山町の教育、学校のあり方について (第1回 令和5年7月27日)

- ・小学校と中学校が連携を深めて、小中一貫教育が必要であると考える。
- ・子どもが減るということは教員定数も減る。中学校では、専科教員配置や部活動の維持という問題も出てくるので、推移を含めて学校はどうあるべきか考えていく必要がある。
- ・校舎の建て替えや学校の類型だけでなく、どんな子どもを育てるのか、他市町村のケースをもっと知りながら考えていく必要がある。

小中一貫教育の推進について (第2回 令和5年12月14日)

- ・3校の良さを共有して、丁寧にそれぞれの良さを活かして取り組んでいく必要がある。
- ・意義を見出せない部分がある。小中一貫教育の良さを確認したいと思う。
- ・小中一貫教育は良いものなので、学校の類型どうこうでなく、今から進めていくべきである。

「小中一貫教育」の実践について (第3回 令和6年2月26日)

■西川町教育委員会から、ふるさと学習を系統的に学ぶことができたり、より滑らかな接続で安心した学校生活につながったり、といった現在実施している「小中一貫教育」のよさについて講話をいただきました。

- ・ハード面とソフト面を並行して考えなければならない。
- ・いろいろな会議で小中一貫校について話題が出るが、まだあまり現実感がない。アンケートが必要ではないか。
- ・コミュニティ・スクールが各校にできたので、これを一本化することも検討していいのではないか。

これから目指す教育

これまでの検討委員会で小中一貫教育について意見をいただきました。学校の類型・設置場所などについては、以下の類型例が考えられますが、いずれの場合においても、「小中連携教育」から一歩進め、「**小中一貫教育**」を実践していきたいと考えています。

「小中一貫教育」

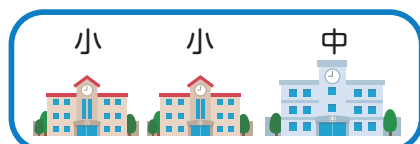
小中学校段階の教員が「目指す子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し系統的な教育を目指す教育。学校の類型・設置場所には様々な組み合わせが考えられる。

■令和6年度は以下の内容を中心に、さらに議論を進めてまいります。

- ・目指す子ども像、学校像
- ・学校の類型・設置場所

【学校の類型例】

ア 小学校2校、中学校1校



組織上独立した小・中学校がそれぞれ一貫した教育を行う
それぞれの学校に校長、教職員組織

イ 小学校統合、中学校1校



ウ 義務教育学校



新たな学校種（一つの学校）
一人の校長、一つの教職員組織

検討委員会では、より多くの方々からの声が必要だという意見をいただきましたので、今年度はアンケートを実施していきたいと考えています。